

東京都交通局 日暮里・舎人ライナー 舎人公園駅構内において発生した
鉄道事故調査について
(経過報告)

令和4年9月29日
運輸安全委員会（鉄道部会）

運輸安全委員会は、令和3年10月7日、東京都交通局の日暮里・舎人ライナー舎人公園駅構内において発生した鉄道事故について、令和3年10月から原因を究明するための調査を進めてきたところであるが、事実情報に関する情報の入手、原因の分析及び再発防止策の検討のために、さらに一定の時間を要する状況である。このため、本件調査については、本事故が発生した日から1年以内に調査を終えることが困難であると見込まれる状況にあることから、運輸安全委員会設置法第25条第4項の規定に基づき、以下のとおり当該調査の経過を報告する。

なお、本経過報告の内容については、今後、新たな情報の入手等により、修正されることがあり得る。

また、本調査は、本件鉄道事故に関し、運輸安全委員会設置法に基づき、鉄道事故及び事故に伴い発生した被害の原因を究明し、事故等の防止及び被害の軽減に寄与することを目的として行うものであり、本事故の責任を問うために行うものではない。

1. 鉄道事故の概要

東京都交通局の日暮里・舎人ライナー日暮里駅発見沼代親水公園駅行き下り第2265A列車は、令和3年10月7日、舎人公園駅を定刻（22時41分）に出発した。その後間もなく千葉県北西部を震源とする地震が発生し、その揺れを感知した指令員は一斉に列車の出発抑止を行うボタンを扱い、各駅に停車中の全列車の出発を抑止した。さらにその直後、指令員は早期地震警報システムの動作を確認したため、列車の一斉非常停止を行うボタンを扱い、走行中の全列車を非常停止させた。この操作によって、本件列車は舎人公園駅構内の分岐部で停止した。その後、現場に到着した係員が本件列車を確認したところ、1両目前台車の左右の走行輪が走行路から右側に落ちて脱線していた。

本件列車には乗客29名が乗車しており、そのうち、8名が負傷した。

2. 調査の概要

運輸安全委員会は、令和3年10月8日、本事故の調査を担当する主管調査官ほか1名の鉄道事故調査官を指名した。現時点までに関係者からの口述聴取、運行記録の分析、施設及び車両の損傷状況に関する調査及び分析、地震時の構造物及び車両の挙動解析等を実施した。

3. 判明している主な事実情報

(1) 運行の経過

本事故で運用されていた車両は、事故発生当日、05時17分舎人公園駅から第565A列車として運行を開始した後、本事故発生までに日暮里駅と見沼代親水公園駅の区間を39往復運行した。22時23分日暮里駅発見沼代親水公園駅行き下り第2265A列車として運行した後、舎人車両基地に入庫する予定であった。当日は出庫から本事故の発生まで、特に列車の遅延や異常の検出等はなく運行していた。

本件列車が舎人公園駅の下り線を22時41分ごろに出発して間もなく、千葉県北西部を震源とする地震が発生し、指令員が一斉非常列車停止ボタンを扱ったことで本件列車では非常ブレーキが動作し、舎人公園駅構内の分岐部で停止した。

(2) 死傷者

負傷者8名（乗客）

(3) 施設、車両の損傷

- ① 案内軌条が脱落、電車線が垂下、走行路上に擦過痕、伝送ループ線が破損、分岐輪用の案内板の外側面に擦過痕
 - ② 車体、台車、案内輪及び分岐輪、集電装置等が損傷
- ※図1に事故現場付近の概況を示す。

(4) 気象

曇り

4. 今後の調査

本鉄道事故の原因及び本鉄道事故に伴い発生した被害の原因の究明並びに事故の再発防止策の検討のため、これまでの調査で得られた情報をもとに、事故直前に発生した地震と列車脱線の関係など、更なる事実確認や分析のほか、原因関係者からの意見聴取及び関係機関への意見照会を行う必要がある。

本委員会は、これまでの調査、分析等によって得られた結果を踏まえて、引き続き本鉄道事故の原因等の調査を進める。

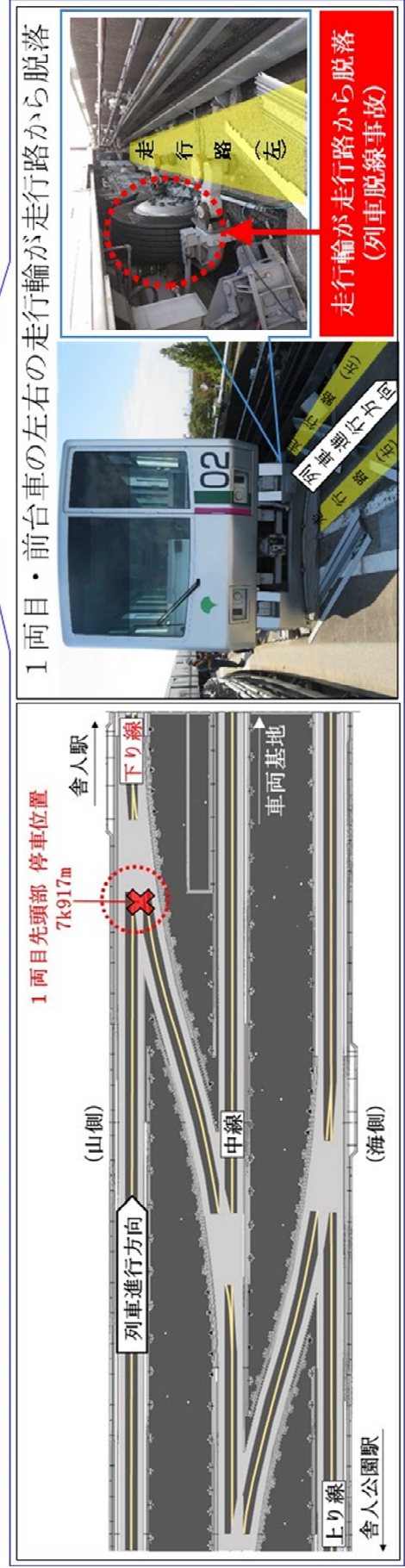
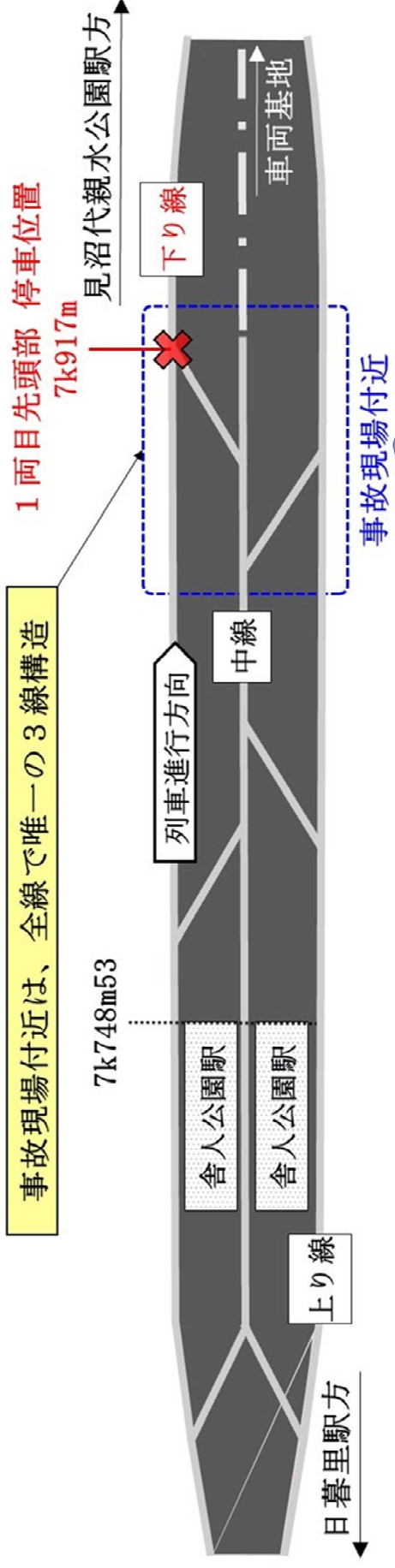


図1 事故現場付近の概況